

日本音韻論学会 2025年度春期研究発表会

ハイブリッド開催（福岡大学 & Zoom）

日時：2025年 5月 17日（土）

会場：福岡大学文系センター棟 15階 第5会議室

参加には、参加登録および参加費の支払いが必要です。
イベントペイシシステム **Peatix** を通じてご登録、お支払いください。下記の URL から **Peatix** にアクセスしてください。

<https://peatix.com/event/4373490/view>

参加費：一般会員 1,000 円、一般非会員 2,000 円、学生（会員／非会員）500 円
締切：懇親会にも参加される方...4月30日（水）

懇親会には参加されない方...5月15日（木）

参加登録をされた方々には、発表会の前日の 5月16日（金）に Zoom ミーティングのログイン情報等をご案内いたします。

=プログラム=

13:00-13:05 開会挨拶 会長 那須川訓也（東北学院大学）

セッション1 司会 田中真一（神戸大学）

13:05-13:35 一般発表 1：

市木敏也（福岡大学大学院）

神谷祥之介（福岡大学）

竹安大（福岡大学）

「日本語を母語とする英語学習者による英語の[r], [l], [ɹ]の知覚：子音と母音の持続時間の影響」

13:40-14:10 一般発表 2

Naoya WATABE（Osaka University）

“Vowel reduction in Ukrainian: A case study of /a/ following palatalized consonants”

14:15-14:45 一般発表 3

桑本裕二（鳥取県東伯郡琴浦町教育委員会）

「鳥取県中部方言に残存する重起伏アクセントの現状」

=休憩（15分）=

セッション2 司会 劉莎（福岡工業大学）

15:00-15:30 一般発表 4

Seunghun J. Lee（International Christian University & University of Venda）

Cédric Patin（University of Lille）

“The prosody of non-canonical questions in Southern Bantu languages”

15:35-16:05 一般発表 5（オンライン）

Noriko Yamane（Hiroshima University）

Masahiro Shinya（Hiroshima University）

Xiaofeng Tan（Hiroshima University）

Chiya Amos（Hiroshima University）

“Integrating manual motion techniques from music practice into English pronunciation training for EFL learners”

=休憩（15分）=

セッション3 司会 時崎久夫（札幌大学）

16:20-17:10 学位取得者講演

神谷祥之介（福岡大学大学院特別選抜研究員）

「言語変化における音声産出と知覚の役割：鹿児島方言に関する事例研究」

=休憩（5分）=

17:15-17:55 会員総会

17:55-18:00 閉会挨拶 副会長 田中真一（神戸大学）

=問い合わせ先=

担当：竹安 大（春期研究発表会担当理事）

Email: takeyasu [A T] fukuoka-u.ac.jp

（[AT] を@に置き換えてください）